

## OTOWA カップ 第35回 関東女子ラグビーフットボール大会 大会実施要項

1. 名 称 OTOWA カップ 第35回 関東女子ラグビーフットボール大会
2. 趣 旨
  - (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
  - (2) 第11回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。
3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会
4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会
5. 協 力 : 東京都ラグビーフットボール協会  
神奈川県ラグビーフットボール協会  
印西市ラグビーフットボール協会  
武蔵野市ラグビーフットボール協会  
八王子市ラグビーフットボール協会
6. 冠協賛 : 音羽産業株式会社
7. 出場予定チーム
  - 【単独チーム】
    - ・東京山九フェニックス
    - ・日本体育大学ラグビー部女子
    - ・横河武蔵野 Artemi-Stars
    - ・RKU グレース
    - ・YOKOHAMA TKM
    - ・立正大学アルカス
  - 【合同チーム】

Pieces

    - ・BRAVE LOUVE
    - ・自衛隊体育学校 PTS
    - ・北海道バーバリアンズディアナ
    - ・弘前サクラオーバルズ
    - ・湘南ベルマーレ Be117
8. 日程/会場※10月17日時点

## OTOWAカップ 第35回 関東女子ラグビーフットボール大会 大会フォーマット

試合順	日付	曜日	対戦チーム		対戦チーム	キックオフ時刻	会場	会場(略称)	観戦について
1	11月3日	日	日本体育大学ラグビー部女子	-	Pieces	13:00	日本体育大学健志台グラウンド	日本体育大G	無料
2	11月9日	土	東京山九フェニックス	-	YOKOHAMA TKM	11:30	印西松山下公園陸上競技場	印西	無料
3	11月9日	土	Pieces	-	横河武蔵野Artemi-Stars	14:00	印西松山下公園陸上競技場	印西	無料
4	11月10日	日	RKU グレース	-	立正大学アルカス	13:00	流通経済大学第1グラウンド	流通経済大G	無料
5	11月17日	日	日本体育大学ラグビー部女子	-	YOKOHAMA TKM	11:00	AGFフィールド	AGF	無料
6	11月23日	土	RKU グレース	-	Pieces	13:00	流通経済大学第1グラウンド	流通経済大G	無料
7	11月23日	土	東京山九フェニックス	-	横河武蔵野Artemi-Stars	11:30	日本体育大学健志台グラウンド	日本体育大G	無料
8	11月23日	土	日本体育大学ラグビー部女子	-	立正大学アルカス	14:00	日本体育大学健志台グラウンド	日本体育大G	無料
9	11月30日	土	東京山九フェニックス	-	Pieces	11:30	武蔵野市陸上競技場	武蔵野陸上	無料
10	11月30日	土	横河武蔵野Artemi-Stars	-	YOKOHAMA TKM	14:00	武蔵野市陸上競技場	武蔵野陸上	無料
11	12月8日	日	日本体育大学ラグビー部女子	-	RKU グレース	11:30	府中朝日フットボールパーク	府中朝日FBP	無料
12	12月8日	日	立正大学アルカス	-	YOKOHAMA TKM	14:00	府中朝日フットボールパーク	府中朝日FBP	無料
13	12月14日	土	Pieces	-	立正大学アルカス	11:30	上柚木陸上公園陸上競技場	上柚木	無料
14	12月14日	土	日本体育大学ラグビー部女子	-	横河武蔵野Artemi-Stars	14:00	上柚木陸上公園陸上競技場	上柚木	無料
15	12月14日	土	東京山九フェニックス	-	RKU グレース	13:00	流通経済大学第1グラウンド	流通経済大G	無料
16	12月22日	日	Pieces	-	YOKOHAMA TKM	13:00	府中朝日フットボールパーク	府中朝日FBP	無料
17	12月29日	日	横河武蔵野Artemi-Stars	-	RKU グレース	11:30	流通経済大学第1グラウンド	流通経済大G	無料
18	12月29日	日	東京山九フェニックス	-	立正大学アルカス	14:00	流通経済大学第1グラウンド	流通経済大G	無料
19	1月4日	土	横河武蔵野Artemi-Stars	-	立正大学アルカス	13:00	横河電機グラウンド	横河G	無料
20	1月5日	日	RKU グレース	-	YOKOHAMA TKM	11:30	保土ヶ谷球技場	保土ヶ谷	無料
21	1月5日	日	東京山九フェニックス	-	日本体育大学ラグビー部女子	14:00	保土ヶ谷球技場	保土ヶ谷	無料

### 9. 参加資格

#### (1) チームについて

関東圏内における所在地を管轄する各都道府県協会に登録しているチームまたはチームにより構成された合同チームであること。

#### (2) 選手について

- 所在地を管轄する各都道府県協会に登録している 2006 年 4 月 1 日以前に生まれた女子選手とする。
- 本大会を通じて 同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

#### (3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。

### 10. 競技規則

(1) 2024 年度版 World Rugby 競技規則により実施する。

#### (2) 試合時間

40 分ハーフ、ハーフタイムは 15 分以内とし、ロスタイム制にて実施する。

(3) 15 人制の大会として実施し、試合当日の選手の登録は、23 名以内とする。

各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。

#### (4) スコッドの人数

2024 年度版 World Rugby 競技規則 第 3 条-8 および 9※1 に則って実施する。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントロ ーの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替 できる者であること
15名、または、そ れ未満	3名	-
16～18名	4名	プロップ、または、フッカーの どちらか
19～22名	5名	プロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドプロップ、タイト ヘッドプロップ、および、フッ カー

全国選手権を目標とするチームは全国女子選手権の実施要項を鑑みて準備をする事。

(5) 選手の入替及び交代、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しマッチオフイシャルまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。

(6) 19歳未満（上記【9. 参加資格】を持つ18歳）の選手はヘッドギアならびに、マウスガードの着用を義務とする。

## 11. 競技方法

(1) 試合人数：15人制

(2) 本大会は総当たり方式により実施する。

(3) 総当たり方式の順位決定方法について

順位決定方法は、不戦勝・不戦敗・不成立の勝ち点を含み、勝ち点制度を用いて決定する。

I. 勝ち点の多い順に順位決定を行う。

勝ち：5点、引分：3点、負け：1点、不戦勝：6点、不戦敗：0点、不成立：3点を与え、全試合終了時点で、最も勝ち点の多いチームを1位とする。

※ ボーナスポイントとして以下の勝ち点を与える。

・負けても7点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。

・3トライ差以上の勝ちならば、勝ち点「1」を追加

※ペナルティトライはトライ1、ゴール1カウントとする。

II. 全試合終了時に勝点同数の場合は、次の各号の順序により順位を決定する。

① 全試合の勝利数の多いチームから上位とする。

② 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。

③ 当該チーム同士の試合で、得失点差の多いチームを上位とする。

ただし、当該チームが2チーム間の比較であった場合、前項②にて比較済のため、④の項目へ進むこととする。

④ 全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。

⑤ 全試合で総トライ数の多いチームを上位とする。

⑥ 全試合でトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

⑦ 当該チームで抽選を実施する

優勝・準優勝チームは、開催が予定されている「第11回全国女子ラグビーフットボール選手権大会」へ関東協会より推薦する。

(5) 試合中止時の取扱い

- ① 双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力により試合中止となった場合、不成立として扱い双方のチームに3点を付与する。得失点差は0-0として扱う。
- ② 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、その帰責性のあるチームは不戦敗として扱い、勝ち点は付与されず、対戦チームに勝ち点6点を付与する。得失点は0-21 (3T3G)として扱う。
- ③ 双方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、双方不戦敗として扱い、双方のチームに勝ち点は付与されない。得失点差は0-0として扱う。

※チームの責に帰すべき事由とは、試合登録人数を満たせなかった場合を示す。具体例としては、不祥事・感染症を起因とする活動停止等の影響によりチーム側から公式戦辞退判断が出た場合や、怪我人が多発し試合に臨める状態ではなく、チーム側から公式戦辞退判断が出た場合が挙げられる。

双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力は、悪天候・地震等の天災地変、公的機関からの中止勧告、公共交通機関不通等を示す。

※双方のチームの責に帰すべき事由によらない(不可抗力)事由によって、試合が実施できなかった試合は再試合の実施を検討する。

## 12. アンコンテストスクラム

- (1) 退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はアンコンテストスクラムにより続行される。
- (2) レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいない、または、安全上の理由で、アンコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。
- (3) レフリーによりアンコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて試合は続行される。
- (4) また、その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。
- (5) フロントローは3人以上登録すること。適切に訓練された前列がいる以上は、試合開始前から戦術的にアンコンテストスクラムを選択することはできない。

## 13. 大会登録および出場選手登録

- 大会登録メンバー表(書式1) 提出期限: 10月21日(月)正午まで
- 出場選手は大会登録メンバー表提出の時点で所在地を管轄する各都道府県協会へ登録済みの選手のみとする。
- 出場選手登録書式(書式2)を各試合日程の48時間前までにメールにて提出すること。
- 出場選手の最終登録選手の変更は、当日のプレマッチミーティングまでとする。
- 合同チームは、合同チーム代表者が所属チームから集約し申込みをすること。
- 全ての選手は正式な手順、手続きをした上で参加を可とする。

【提出先: E-mail】

#### 14. 外国人選手の出場

- (1) 外国籍の選手が参加する場合は（公財）日本ラグビーフットボール協会「チームの登録に関する規程」の「第4章外国人選手」※2にもとづいて、承認を受けた者に限る。また、その後、継続的に日本に居住し、所属チーム部員として練習その他の活動を共にしており、所在地を管轄する各都道府県協会において登録した選手に限る。
- (2) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (3) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。
- (4) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けないが同時出場は3名までとする。

#### 15. 参加費 1チームにつき 20000円

#### 16. 表彰

- 毎試合で両チームから1名、SOM(Star of the Match)を選出する。
- 優勝、準優勝のチームを表彰する。
- 大会最優秀選手 MVP(Most Valuable Player)を1名選出する。

#### 17. 試合当日の練習場所

当日の練習場所は各会場にて指定されたウォーミングアップ場を使用し注意事項に従うこと。

#### 18. テクニカルゾーン

- 試合会場に応じて実行委員会において随時定める。
- 競技区域内に入ることができるスタッフは、チームドクター・メディカルスタッフ2名・給水係3名とし、キックティ-係は給水係が兼務する。いずれも所在地を管轄する各都道府県協会へ登録している者が任を務める事とする。

#### 19. プレマッチミーティングについて

- (1) 第1試合は試合開始80分前、第2試合は第1試合のハーフタイムに実施する。
- (2) 参加者は各試合のマッチコミッショナー、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
  - 出場登録選手の最終確認
  - 時計の同期
  - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
  - その他、競技運営に関する留意事項を確認

#### 20. 地震・雷・台風等の荒天時における試合成立条件について

##### ①試合日以前（K0前まで）の試合可否判断について

地震・雷・台風等の荒天の影響により、チーム・スタッフ・マッチオフィシャル、観客等、試合に関わる全ての関係者の安全が保障されない場合、

主催者側から中止または延期を要請する場合がある。

## ②試合中の試合可否判断について

### ●定義

- ・試合中とは、キックオフ時刻からゲームが終了するまでの時間を指す。
- ・発雷とは、光の強弱及び音の大小を問わない。
- ・気象警報とは、気象庁から発表される情報を指す。

参考[30/30 ルール]

雷の閃光とそれに関連する雷鳴の間が 30 秒以内の場合はプレーを中止しグラウンドを離れ安全な場所へ(クラブハウス等)避難する。競技場への復帰は、最後の閃光または雷鳴より 30 分以上が必要

●地震・雷・台風等の荒天の影響により、試合中に実施不能となった場合、当日現場にいるマッチコミッショナー、マッチオフィシャル、両チーム監督、施設管理者で情報等を持ち寄り、関東協会事務局に報告する。その後、試合の実施可否について、関東協会判断、決定する。

また、中断した場合は以下の通りで勝敗、試合の取り扱いを行う。前半が終了していれば成立とみなし、中断時の得点を結果とする。また、ボーナス点付与の対象の試合とする。前半途中で中断した場合、試合が再開できるかどうかを、マッチコミッショナーと両チーム、マッチオフィシャルで話し合い、検討する。

その際に以下に準じて検討すること。

試合が途中で中断した場合、再開の目処は遅くとも試合中断後 60 分後を目安とする。また、その判断は試合中断後 30 分以内を目安とする。

試合再開時刻を決定する場合、チームのウォーミングアップ時間を十分に配慮するものとする。

再開が難しいと判断した場合に、後日の再試合を検討する。その後、後日の再試合が行える場合、中断時点の得点は考慮されず、改めて行う。再試合の実施が不可能の場合は、前半途中で中断した試合を成立とし、ボーナス点付与の対象の試合とする。

## ③2 試合併催の場合

第1 試合と第2 試合をそれぞれ独立した試合として、判断する。

第1 試合にまつわるイベント(プレマッチミーティング等)が進行していく際に地震・雷・台風等の荒天の影響を受けた際は第1 試合の実施の可否を判断しながら、第2 試合の実施の可否も併せて検討する。

●第1 試合が一度中断を挟んで試合を実施できた場合や試合が中止となった場合でも、第2 試合が決定されている時間でキックオフできる場合はそのまま実施する。但し、その際は以下の点が確保されている上での対応とする。

- ・選手のウォーミングアップの時間が十分に確保されたこと
- ・選手、競技に関わる人員、または観客の帰宅する公共交通機関が今後も確保されている状況であること

●第1 試合が地震・雷・台風等の荒天の影響によって延期、中止となり、第2 試合のキックオフは必ずのことによる実施を検討できる場合、以下の点に注意をして実施することを検討する。

- ・選手のウォーミングアップの時間が十分に確保されたこと
- ・選手、競技に関わる人員、または観客の帰宅する公共交通機関が今後も確保される見込みがあること。
- ・キックオフをずらしたことによる発雷確率の減少や荒天の回復が見込めること。
- ・試合終了時までのボールの視認性が確保できること（照明等の有無、使用可否も含めて）。
- ・競技場の閉門時間までに撤収ができるかどうか。

なお、第1試合、第2試合それぞれキックオフを迎えたが、試合途中で地震・雷・台風等の荒天の影響を受け、ノーサイドまで実施できなかった場合、②に従って試合の成立の扱いを決定する。

## 21. その他

- (1) 試合当日のロッカールームの割付、タイムスケジュール、会場における留意事項などは、関東協会から連絡する。
- (2) 悪天候による当日の試合の開催可否判断について。マッチコミッショナー・マッチオフィシャルの判断により、両チーム、ならびに関係者（グラウンド管理者等）と協議の上決定する。試合の中止が決定した場合は引き分けとする。
- (3) 大型台風等々、試合の開催に様々な危険をもたらす恐れがある場合は、関東協会女子委員会にて試合開催可否を判断する場合がある。

## ※1 2024年度版 World Rugby 競技規則 第3条-8 および9

8. この表は、スコッドの人数に対するフロントローの最低人数と、交替における最低要件を示している。試合開催者は、プレーヤーウェルフェアを考慮し、特定のレベルの競技においてスコッドにおけるフロントローの最低人数と交替における最低要件を変更することができる。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントローの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替できる者であること
15名、または、それ未満	3名	-
16～18名	4名	ブロップ、または、フッカーのどちらか
19～22名	5名	ブロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドブロップ、タイトヘッドブロップ、および、フッカー

9. 試合主催者がスコッドの人数を23名に決めたが、一方のチームがフロントローの交替要員を2名しか出せない場合、そのチームはスコッドを22名しか指名することができない。

## ※2 (公財) 日本ラグビーフットボール協会「チームの登録に関する規程」の「第4章外国人選手」

### 第4章 外国人選手

(外国人選手の登録手続)

第16条 登録チームが外国人につき選手登録をしようとするときは、次の各号に掲げる書類の写し各1通を都道府県協会に提出しなければならない。

- (1) 査証（ビザ）を受けた旅券（パスポート）

(2) 在留カード

(3) 所属する企業との間で締結した雇用契約書又は、又はチームの属する学校への就学証明書

2 登録チームは、外国において登録されたことのある外国人選手を登録しようとするときは、前項の書類に加えて前所属チーム及び前所属協会の移動許可書（ワールドラグビーの標準書式による「移動許可 Clearance」）を提出しなければならない。

3 登録チームは、当該チームに移籍する外国人選手につき母国協会又は移籍元チームから育成費その他の金銭請求を受ける可能性がある場合には、前項の書類に加えて、母国協会又は移籍元チームとの間で上記金銭請求に関する合意が成立している旨の誓約書を提出しなければならない。

4 都道府県協会は、登録チームから第1項から第2項までの書類の提出を受けたときは、すみやかにその書類の写しを三支部協会及び日本協会に送付しなければならない。

(外国人選手の例外)

第17条 前条の規定は、外国国籍の選手であって、日本国政府より特別永住権を認められて、日本国に在住している者には適用しない。

(外国協会登録の外国人選手の登録不承認)

第18条 外国協会に登録されたことのある選手又は国外の育成プログラムによる訓練を受けたことのある選手に次に掲げる事情があるときは、日本協会は、当該事情が解消するまでの間、選手登録を認めない場合がある。

(1) 登録しようとしている選手が、外国の協会、その所属団体又はクラブとの間で締結した契約上の義務を完全に履行していないとき

(2) 登録しようとしている選手の所属に関し、外国の協会、その所属団体又はクラブ等との間で紛争が生じているとき

(3) 登録しようとしている選手が、所属する協会の規律上の理由により試合への出場が禁じられているとき